

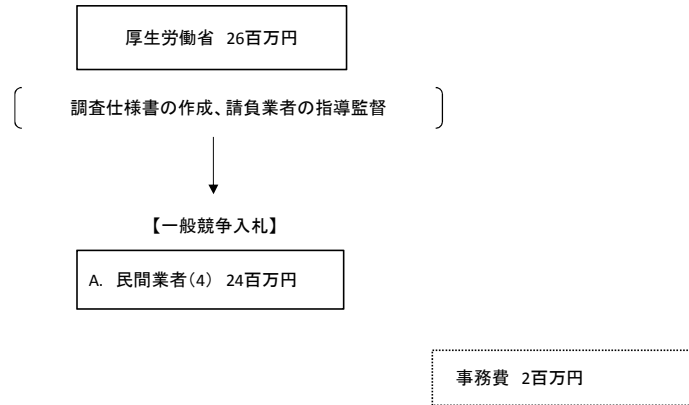
平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	水道施設整備事業調査費 (水道施設整備事業調査諸費含む)			担当部局庁	生活衛生・食品安全部		作成責任者		
事業開始年度	平成16年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	水道課		水道課長 宮崎 正信		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等					
主要政策・施策				主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道施設についての危機管理体制、耐震化状況、施工技術の動向の実態把握、水道施設の資産管理に関する調査等を行い、今後の水道事業のあり方について検討するもの。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	水道施設設置状況、耐震化基礎調査、水道施設整備施工技術動向調査、水道におけるアセットマネジメント導入等に関する調査、長期的な水需給を考慮した広域的な水道施設の再構築ガイドライン策定調査費、水資源開発施設の有効利用等に関する調査、浄水処理施設等の最適化に関する調査の実施。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	32	33	33	33	0		
	執行額	31	32	26					
	執行率 (%)	97%	97%	79%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 30 年度
	水道施設の耐震化等基礎調査による課題及び改善方策等を検討することにより、安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保する。	耐震化計画策定率	成果実績	%	38	21	集計中	-	-
			目標値	%	50	50	50	-	50
			達成度	%	38	21	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	調査件数	活動実績	件	6	6	5	-		
		当初見込み	件	6	6	5	5		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たりコスト	百万円/件	5.2	5.3	5.2	6.6	
	X:「水道施設整備事業調査費執行額」 Y:「調査件数」		計算式	X/Y	31/6	32/6	26/5	33/5	
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	水道施設整備事業調査費	33							
	計	33	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	II-2 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること							
	施策	II-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 34 年度
		基幹管路の耐震適合率	実績値	%	34.8	36	集計中	-	-
			目標値	%	34.7	36.4	38.1	-	50
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	水道施設設置状況、耐震化基礎調査、水道施設整備施工技術動向調査、水道におけるアセットマネジメント導入等に関する調査、長期的な水需給を考慮した広域的な水道施設の再構築ガイドライン策定調査費、水資源開発施設の有効利用等に関する調査、浄水処理施設等の最適化に関する調査を実施する。 水道に係る基礎調査等を行うことにより、実態を踏まえた水道施設の耐震化やアセットマネジメントの導入、広域的な水道施設再構築の推進が可能となり、安全で質が高く災害に強い持続的な水道の確保の推進支援に寄与すると見込んでいる。								
	改革項目	分野:	社会資本整備等	② 地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 2 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 34 年度
		個別施設(道路、公園などの各施設)ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率(基幹管路の耐震化適合率)	成果実績	%	33.5	集計中	-	-	-
目標値			%	33.5	38.1	39.8	-	50	
達成度			%	100	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
本事業では水道施設の資産管理など、今後の水道事業のあり方について検討をすすめることを目的としており、本事業の結果水道施設の耐震化等に資するものである。									

事業所管部局による点検・改善																				
項目		評価	評価に関する説明																	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、水道施設の整備を適切に実施するため各調査を実施することは広く国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。																
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	水道施設の整備を適切に実施するため各調査を実施することは全国一律に行う必要があり、国が実施すべき事業である。																
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	安全で質の高い水道を確保するため、水道施設の整備を適切に実施するため各調査を実施することは優先度が高い。																
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	業務を実施するにあたり、一般競争入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定も妥当である。																
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有																	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無																	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。																
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	調査実施件数によるところがあるが、適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。																
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-																
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。																
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	入札差額によるものであり妥当である。																
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-																
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	当初見込みどおりであり、見込みに合ったものになっている。																
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-																
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みどおりであり、見込みに合ったものになっている。																
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物は今後の水道事業のあり方の検討に十分に活用されている。																
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省・部局名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		所管府省・部局名	事業番号	事業名												
	所管府省・部局名	事業番号	事業名																	
点検結果		平成27年度においては、入札で一部不調が生じたため、今年度は公告期間を長く設定するなど調達方法の適正化を図っている。水道施設の整備を適切に実施していくためには、効率的・体系的な管理手法の検討や施工技術の動向把握、水道施設の資産管理等に関する調査が不可欠であるため、事業内容は適切である。																		
改善の方向性		調査テーマについては、水道施設における耐震化促進のための調査、アセットマネジメント導入や長期水需要バランスに関する調査など、適宜見直しを図る。																		
外部有識者の所見																				
行政事業レビュー推進チームの所見																				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																				
備考																				
関連する過去のレビューシートの事業番号																				
平成22年度	342	平成23年度	310	平成24年度	269															
平成25年度	318	平成26年度	328	平成27年度	339															

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

